

# 南部地区人権教育実践報告会

平成28年7月29日（金） 会場：蕨市民会館・蕨市立中央公民館（総参加者数642名）

## 1 全体会の概要

- (1) 開会の言葉  
(2) あいさつ

実行委員  
県教育委員会教育長  
実行委員長  
蕨市理事  
県議会文教委員長



## (3) 人権作文・表彰

- ・「人をたすけるゆう気」 志木市立宗岡第二小学校 第2学年
- ・「教えてあげたら教えてもらったよ」 新座市立西堀小学校 第3学年
- ・「はだ色」 上尾市立今泉小学校 第4学年
- ・「心に伝わる優しい気持ち」 川口市立鳩ヶ谷小学校 第5学年
- ・「私のお母さん」 桶川市立桶川西小学校 第6学年
- ・「小さな命」 桶川市立桶川中学校 第1学年
- ・「障害のある人と共に生きる」 北本市立西中学校 第2学年
- ・「偉いことが当たり前になる世の中へ」 蕨市立第二中学校 第3学年
- ・『自分』らしさと『相手らしさ』 埼玉県立伊奈学園総合高等学校 第3学年

## (4) 閉会の言葉

実行委員

## 2 分科会の概要

分科会名	実践報告	参加者数
同和問題	○人権についての正しい理解を図る小学校第6学年社会科授業の実践 社会科授業の実践 ～同和問題を中心に～ ○「総合的な学習の時間」における同和問題学習のとりくみ	73名
子供	○望ましい人間関係を目指した人権教育の推進 ○共生の心を醸成する人権教育の推進 ～いじめを許さない教育活動の実践～	212名
高齢者	○地域の文化を伝え合う保育を通して育つ心 ～高齢者の方との交流を通して～ ○特別活動における高齢者介護ビデオ視聴による人権感覚の育成	30名
障害のある人	○視覚障がいのある人と盲導犬から学ぶ心のバリアフリー ○今できるバリアフリー	65名
女性	○互いに認め合い、一人一人がかがやく教育を目指して ○共生社会に向けた保護者支援	39名
外国人	○志木小学校における外国人の受け入れについて ～学級担任としてできることを考える～ ○「みんなともだち」 ～互いの思いを伝える保育とは～	55名
その他の人権問題	○公民館における人権教育の取り組み ○原市南保育所の取組	19名

## 3 参加者の意見など

- (1) 学年が上がるにつれ、作文の内容が身近なところから、世の中のことになり、子供の発達段階を感じる事ができた。
- (2) 自分との違いを受け入れる心を持つことが人権感覚を育むことだと思ふ。それを意識したうえで、日々の活動を進めていくことが大事だと再認識する事ができた。
- (3) 学校や県の取組を聞くことができ、参考になった。家庭での思いやりをどのように育むか改めて考えるよい時間となった。